

令和8年度岩手県議会出前講座 実施結果報告書（5、6月実施分）

1 趣旨

児童、生徒、学生の皆さんに県議会を身近に感じていただくため、議員が学校に出向いて、議会の仕組みや役割の説明や質疑応答などを行いました。

令和8年5月と6月には、小学校3校、大学1校で実施し、県議会について学んでいただきました。

2 実施概要

（1）小学校

【大船渡市立大船渡北小学校】

日時：5月27日（水）11時15分～12時00分

児童：6年生 9名

講師：神崎 浩之 議員

畠山 茂 議員



【雫石町立七ツ森小学校】

日時：5月28日（木）10時20分～11時05分

児童：6年生 12名

講師：名須川 晋 議員

工藤 剛 議員



【北上市立和賀西小学校】

日時：6月17日（水）10時35分～11時20分

児童：5、6年生 12名

講師：菅原 亮太 議員

高田 一郎 議員



(2) 大学

【岩手県立大学】

日時：6月8日（月）14時40分～16時10分

学生：社会福祉学部3、4年生 22名

（育児支援論）

講師：高橋 穂至 議員

吉田 敬子 議員



3 出前授業の内容

(1) 小学校

- ・ 講師あいさつ、自己紹介
- ・ 県議会の仕組みと役割の説明
- ・ 県議会クイズ
- ・ 議員への質問コーナー
- ・ 感想発表、まとめ

(2) 大学

- ・ 講師あいさつ、自己紹介
- ・ 県議会の仕組みと役割の説明（議会広報動画視聴）
- ・ 県議会議員の仕事
- ・ 議案の審議（県の子育て施策を例に）
- ・ グループワーク、質疑応答
- ・ 議員感想、まとめ

4 主な質問等

(1) 小学校

- ・ 市議会や国会は、県議会とどのような関係があるのですか。
- ・ 議長はどのようにして決めるのですか。
- ・ どうして議員になろうと思ったのですか。
- ・ 東日本大震災津波などの災害のときに国はお金を負担してくれるのですか。
- ・ 県の予算のお金はどうやって集めるのですか。
- ・ ホームレスや車を持っていない人の税金はどうするのですか。
- ・ 東日本大震災津波伝承館などの建物を建てる時に国の許可は必要なのですか。
- ・ 県の施設の入館料は何に使われるのですか。
- ・ 議員は、会議がない時はどんな仕事をしているのですか。
- ・ 議員の仕事は大変ですか。

- ・ 選挙に投票に来る人はどの年代の人が多いですか。
- ・ 議員になると年にどのくらいお金を稼げるのですか。
- ・ 議会の傍聴席は席が限られていると思うが、人数がいっぱいになったらどうするのですか。
- ・ 県民の願いなどはどのようにして集めているのですか。

(2) 大学

- ・ 意識の高い人や実際に問題に直面している人は、請願や陳情などのアクションを起こすと思いますが、私たちの世代のように子育てを経験していない若者が声を上げられる身近な場はありますか。
- ・ テレビや広報を見る機会が少ないので、何かが改善されたとか、自分たちの情報や悩みがどの程度伝わっているかを確認できる機会や、もっと身近に感じられるものがあるといいと思います。インターネットを使うなどの意見は出ませんか。
- ・ 経済状況が岩手県と似ている都道府県で行われている取組の中で、取り入れたいものは何ですか。
- ・ 環境福祉委員会やこども政策調査特別委員会等への所属は、どのように決定されていますか。
- ・ 講師議員が考える、岩手県ならではのいいところ、岩手県独自の取組を教えてください。